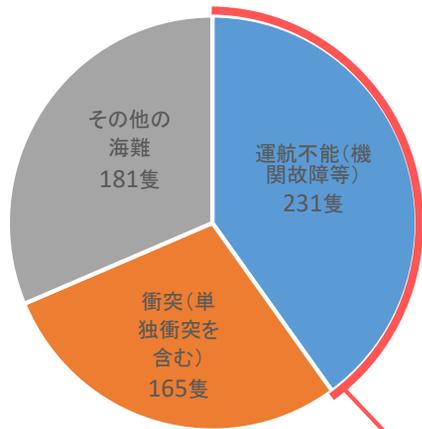


さけ・ます漁

海難

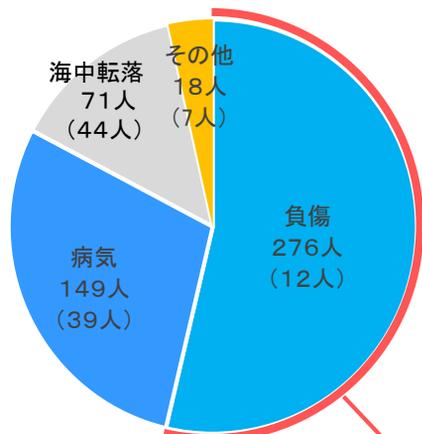
ゼロ

○ 漁船海難の原因
(平成27年～令和2年・北海道版)



※機関故障など運航不能だけでも4割、衝突も3割を占める

○ 人身海難の原因
(平成27年～令和2年・北海道版)
※カッコ内の人数は死者・行方不明者数



※負傷によるものが半数以上、病気も3割近くを占める

機関故障の予防・・・

機関故障の多くは、出港前の事前準備の段階で防ぐことができるものがほとんどです。**発航前の点検**を適切に行いましょう。

また、**日常の定期点検**もお忘れなく。

衝突事故を防止するために・・・

常時適切な見張り

見張員を増員したり、適宜交代するなど、常時他船の動静に留意し、目視・レーダー等による**適切な見張り**を行い、また、接近船舶に対しては**注意喚起**を行いましょう。

霧中における航行

霧発生時は、音響信号を吹鳴のうえ減速航行し、レーダー等を活用して**他船の動静を継続監視**し、他船を認めた場合は、**早期に避航動作**をとりましょう。

負傷事故を防止するために・・・

操業時の安全確保

作業責任者は、経験の浅い者へ十分な**安全教育**を行いましょう。また、甲板上での投網、揚網時は、**作業の安全管理を徹底**し、**事故が起きても直ぐに巻揚げ機が停止できることを確認**しましょう。

※洋上での急病発生が増えております。日頃の体調管理にも十分注意してください。

ライフジャケットの着用

甲板上は必ず**ライフジャケットを着用**しましょう。

最新の気象・海象情報を把握し、安全に操業を行いましょう。

ライフジャケットは必ず着用を!



広尾海上保安署

01558-2-0118

海難ゼロへの願い!

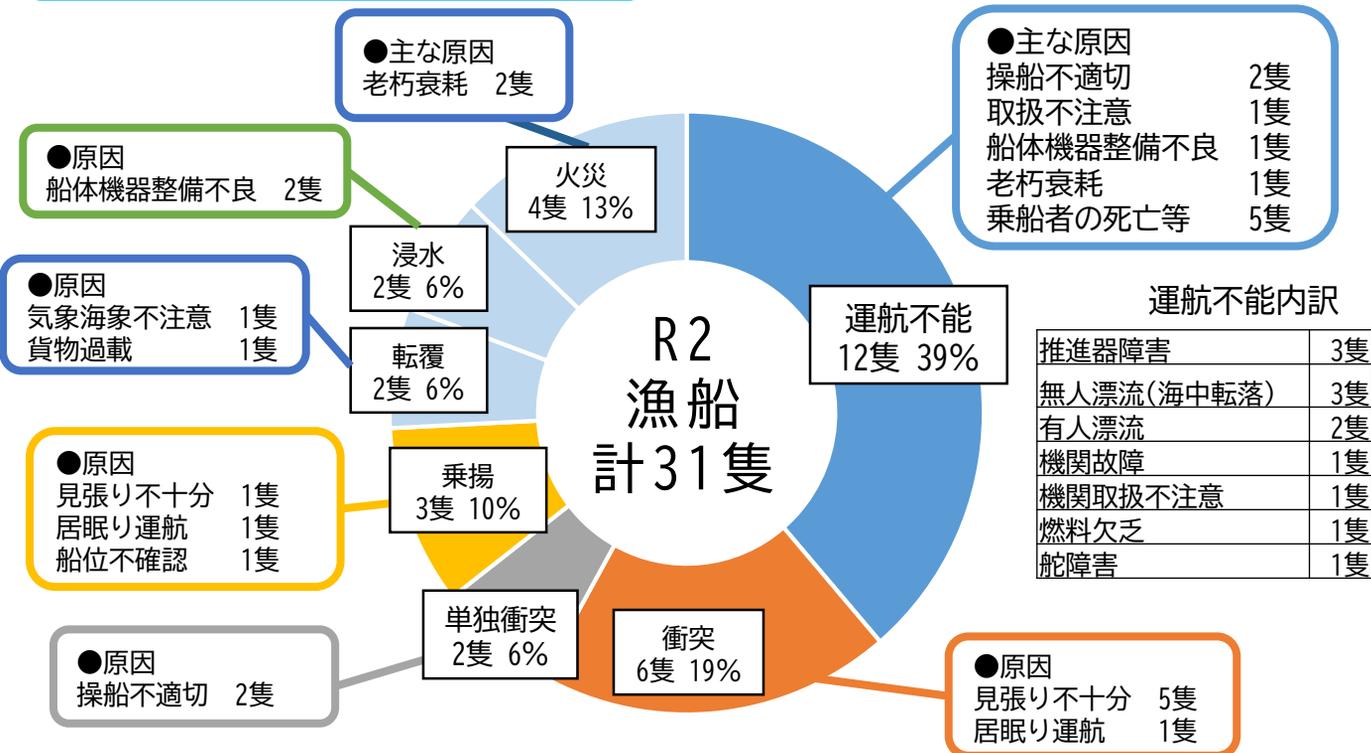
【令和3年4月版】



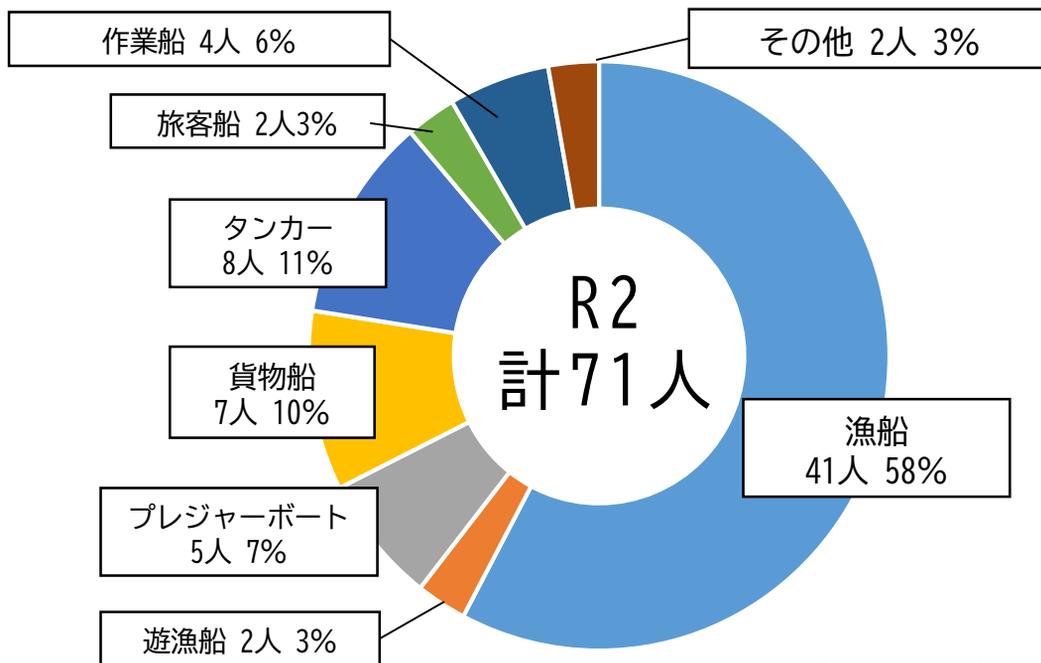
さけ・ます漁 海難

ゼロ

令和2年の漁船海難発生状況



令和2年の船舶事故によらない乗船者の人身海難



【出典：第一管区海上保安本部】